

高齢者の潜在的居住支援ニーズと住まいのマッチングのための「見える化」プロセス

I 高齢者世帯の概況把握

0・地域概要(人口、世帯数) 平成27年国勢調査

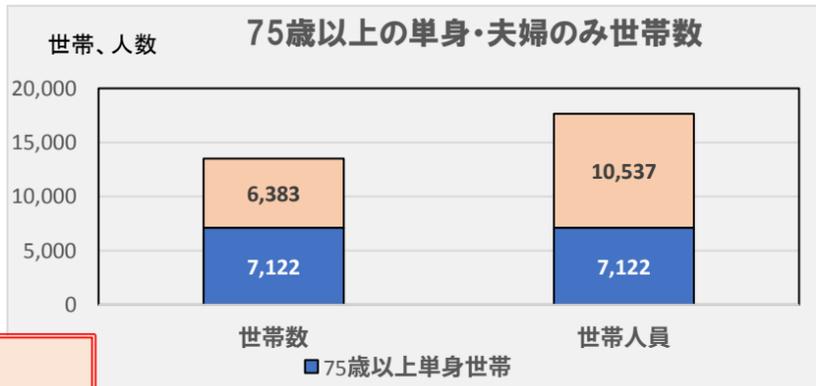
	総数	65歳以上	75歳以上
人口	294,247人	80,252人	40,357人
世帯数	121,565世帯	52,118世帯	28,787世帯

65歳以上世帯人員のいる世帯 75歳以上世帯人員のいる世帯

Focus① 高齢者単身・夫婦のみ世帯(平成27年国勢調査より)

	世帯数	世帯人員
65歳以上単身世帯	13,238	13,238
65歳以上夫婦のみ世帯	14,209	25,824
計	27,447	39,062
75歳以上単身世帯	7,122	7,122
75歳以上夫婦のみ世帯	6,383	10,537
計	13,505	17,659

※世帯数：65歳以上、75歳以上の世帯員がいる世帯
 ※世帯人員：65歳以上、75歳以上の世帯人員



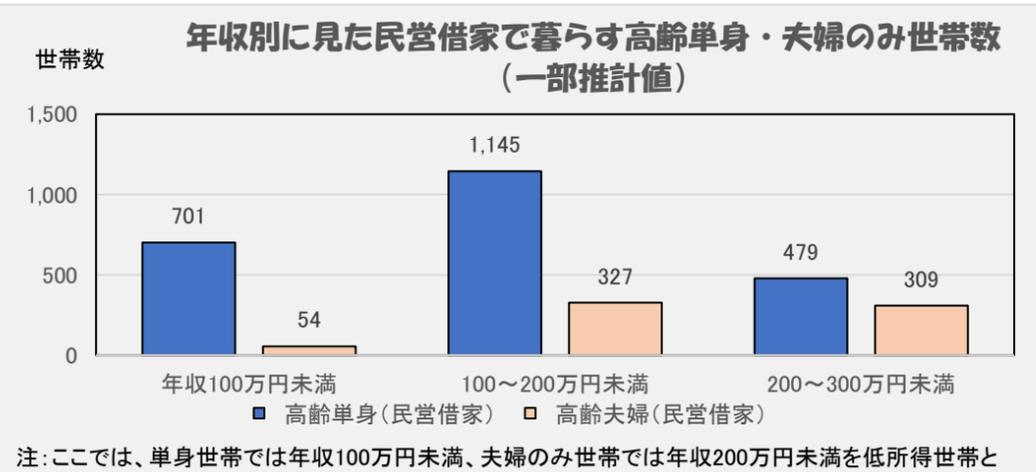
Focus① 75歳以上の単身・夫婦のみ世帯
 潜在層を含めた要見守り世帯と想定される。

II 潜在的な居住支援ニーズの把握

Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮の低所得高齢者世帯数(平成25年 住宅・土地統計調査より、推計値)

	借家で暮らす高齢単身世帯・夫婦のみ世帯数	(内訳)			低所得世帯※	
		年収100万円未満 (=月収8万3千円未満)	100~200万円未満 (=月収16万6千円未満)	200~300万円未満 (=月収25万円未満)	世帯数	割合
65歳以上単身世帯数						
高齢単身(持ち家)	8,200	1,437	2,229	1,545	1,437	17.5%
高齢単身(借家)	3,760	1,159	1,412	594	1,159	30.8%
高齢単身(公営・都市再生機構(UR)・公社の借家)	890	381	307	106	381	42.9%
高齢単身(民間借家)	2,820	701	1,145	479	701	24.8%
高齢単身(給与住宅)	50	25	25	0	25	50.0%
65歳以上夫婦のみ世帯数(参考)						
高齢夫婦(持ち家)	9,250	383	1,491	2,955	1,875	20.3%
高齢夫婦(借家)	1,330	150	500	400	650	48.9%
高齢夫婦(公営の借家)	420	64	154	102	218	51.8%
高齢夫婦(都市再生機構(UR)・公社の借家)	0	0	0	0	0	-
高齢夫婦(民間借家)	870	54	327	309	381	43.8%
高齢夫婦(給与住宅)	30	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※ここでは「低所得世帯」を下記の定義で分類
 単身世帯：年収100万円(月収8万3千円)未満
 夫婦のみ世帯：年収200万円(月収16万6千円)未満



Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮者
 借家、特に民間借家で暮らす低所得の高齢世帯(特に単身世帯)は、潜

高齢単身世帯	701	世帯
高齢夫婦のみ世帯	381	世帯
計	1,082	世帯

Focus②-2 老朽化した住宅で暮らす低所得高齢世帯数(推計値)

築50年以上経過した持ち家の割合	5.8%
------------------	------

※統計の区分上、昭和35年以前に建築された持ち家の割合を利用

Focus②-2 老朽化住宅に居住する低所得高齢世帯
 老朽化した持ち家で暮らす低所得高齢者世帯は、早期に転居・住まい確

	持ち家※1	民間借家※2	計
高齢単身世帯	84	701	785
高齢夫婦のみ世帯	109	381	490
計	193	1,082	1,275

※1 持家低所得×築50年以上の割合
 ※2 借家低所得世帯

この数値を参考に
 各市町村の実情を踏まえ

III 活用可能性のある賃貸住宅の把握

Focus③ 管内の「腐朽・破損なし」の賃貸用空き家戸数

腐朽・破損のない賃貸住宅戸数	5,730戸
----------------	--------

《比較》

Focus③ 管内の有効な住宅資源の確認